

安全・安心確保に関する

取組について

九州技術事務所長 小串 俊幸



新年明けましておめでとうございます。
平素より、国土交通行政の推進にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、8月11日から21日にかけて日本列島周辺に停滞した梅雨前線の影響で、西日本・東日本の広い範囲で100mmを超える記録的な大雨となりました。九州北部地区では、土砂災害や河川氾濫に伴う家屋や田畑の浸水など、多数の被害が発生しました。被災された方には心からお見舞い申し上げます。

当事務所では、これらの災害箇所に排水ポンプ車・小型無人機（ドローン）および職員を派遣して、災害復旧支援及び自治体支援を行い、側面より応援を行っているところ

です。さて、当事務所は、九州の建設分野の生産性向上を目指し、「防災技術力の充実強化」「建設技術の生産性向上」「人材育成の推進」を3つの柱として業務を推進しております。

「防災技術力の充実強化」においては、照明車2台の追加配備実施や、当事務所で開発に携わった市販のバックホウを遠隔操作できる装置（通称ロボQS）の操作性向上を図った取組を活用して、九州管内で発生する災害に対応します。火山防災分野において

は、平成25年7月に新設された「九州防災・火山技術センター」を中心に、噴火時における立入禁止区域内での調査手法として無人航空機の活用などに引き続き取り組んでまいります。

「建設技術の生産性向上」においては、国土交通省では、データとデジタル技術を活用し、非接触・リモート型への働き方への転換と抜本的な生産性や安全性向上を図るため、インフラ分野のDX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進しています。九州技術事務所においても「九州インフラDX人材育成センター」を開設して、今後、建設業界にて主流となる3Dデータ、BIM/CIMに関

する技術に触れていただく環境を整備し、3D点群データの活用や建設分野におけるVR（バーチャルリアリティ）技術を体験いただける施設を開設しました。また、今後の人手不足の助けとなるように省人化、効率化を図れる技術開発を検討してまいります。また、新技術・新工法については、登録受付・審査や関係者向けの説明会を引き続き実施、九州における更なる普及・活用促進に取り組んでまいります。

地域の発展に貢献する 港湾整備を目指して

唐津港湾事務所長 松延 嘉國



新年明けましておめでとうございます。平素より港湾行政

政の推進にご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、働き方や生活様式も様変わりした年となりました。建設業の皆様にはコロナ禍においても公共事業の工事現場での感染防止対策を徹底していただき、遅滞なく工事を進めるこ

とが出来ており、大変感謝しております。

当事務所では、唐津港と伊万里港において地域経済の発展と住民生活の安全・安心の確保を目的に港湾施設の整備を進めております。

唐津港では、物流機能の効率化やクルーズ客船の受入、大規模地震発生時の輸送拠点となる耐震強化岸壁等の整備、ならびに老朽化対策として岸壁の改良整備を進めております。耐震強化岸壁は、平成28年に暫定供用を開始し貨物船やクルーズ客船などに利用されてきましたが、クルーズ客船は一昨年よりコロナ禍

で寄港がない状況が続いております。来たるべきクルーズ客船の再開に備えるとともに、大規模地震発生時における大型支援船等の入出港に必要な航路泊地の整備を引き続き進めてまいります。

伊万里港では、国際コンテナ等の港湾物流の円滑化に資する臨港道路の整備、伊万里湾大橋の老朽化対策等を進めております。国道204号と結ぶ臨港道路七ツ島線の整備は令和4年度の完成を目指して、引き続き推進してまいります。

また、事業の実施にあたりましては、ICT浚渫工等の導入推進による生産性の向上や工事発注における働き方改革の取り組みなど、担い手育成・確保につながる活動を建設業界の皆様と連携して進めてまいります。

今後とも地域の発展に貢献する港湾整備や港まちづくりを目指して、事務所職員一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。本年が皆様にとりまして、より良い年になることを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

唐津防災対策協議会

会長 村上 伸
他 協議会 会員一同

事務局 / 〒847-0025 唐津市宇木435番地1 TEL0955-77-1795



2022 寅

謹賀

新年



福博印刷株式会社

〒849-0918 佐賀県佐賀市兵庫南4丁目22番40号 代表電話: 0952-24-2366